

(第一紙) T23p76c24～

1 十誦律¹二誦卷第五²

- 2 仏在舎衛国爾時有一居士請仏及僧□□
- 3 食仏黙□受是居士知仏默然受已頭面□
- 4 足右□□去還到自舎是夜弃種種多□□
- 5 食時諸比丘露地敷僧臥具「³」
- 6 食時到有比丘經行有比丘坐「⁴」
- 7 敷坐処已遣使白仏言世尊食具已「⁵」
- 8 知時即時諸比丘捨僧臥具自持衣「⁶」
- 9 士舎仏自往⁷房迎食分諸比丘往居士舎□
- 10 天雨湿□□具諸仏常法諸比丘往居士舎
- 11 時⁴自持戸鉤從房至房看諸房舎開一□□
- 12 見僧臥具在露地雨湿爛壞即取⁵緹「⁶」
- 13 举着覆処便閉房門下擲還自房舎独坐□
- 14 上結加趺坐爾時居士知僧坐已自手行水
- 15 自与多美飲食自恣飽滿爾時居士知僧滿
- 16 足已撰鉢竟自手与水取小床坐衆僧前欲
- 17 聽説法上坐説法已從坐起去諸比丘随次
- 18 第出還詣仏所諸仏常法諸比丘食後□時
- 19 以如是語勞問諸比丘飲食□□僧□□□
- 20 諸比丘言世尊飲食多美衆僧飽滿
- 21 仏言今日汝等入居士舎已我於後持⁸門⁹鉤
- 22 從房至房看諸房舎開一房門見僧臥具露
- 23 地雨湿爛壞語諸比丘是事不是非法不応

(第一紙) T23p77a17～

- 1 爾¹衆僧臥具云何趣用踐蹋不知護惜諸居
- 2 士血肉乾竭為福德故布施供養汝等□□
- 3 用守護者善仏如是種種因縁呵已語諸□
- 4 丘以十利故与²諸³比丘結戒從今是戒応如

1 「二」の右に「第」（朱書）あり。
 2 「五」の右に「十一」（朱書）あり。
 3 往＝住【大】
 4 〔仏〕＋【大】 大正蔵に校注なし。
 5 緹＝振【大】
 6 門＝戸【大】
 7 〔一切〕＋【大】
 8 〔諸〕－【大】 大正蔵に校注なし。

- 5 是説
- 6 若比丘露地敷僧臥具細繩床龜繩床蓐被
- 7 若使人敷是中坐臥去時不自拳不教⁹拳着¹⁰
- 8 波逸¹¹提細繩床有五種阿珊蹄脚簸郎劬脚
- 9 羝¹²羊角脚尖脚曲脚龜繩床有五種阿珊□
- 10 脚簸郎劬脚羝羊角脚尖脚曲脚蓐枕¹³蓐者
- 11 甘麓¹⁴滓貯蓐瓠茎貯蓐長爪¹⁵茎貯蓐毳貯蓐
- 12 蓐¹⁶貯蓐劫貝貯蓐文闍草貯蓐麻貯蓐水
- 13 衣貯蓐被者俱執被蓐¹⁷被毳被劫貝被露
- 14 地者無土壁無草木壁無簾席壁無衣慢¹⁸覆
- 15 障如是比较無物覆障処自敷者自手敷□□
- 16 者教他人敷坐者坐上臥者身著床不¹⁹拳者
- 17 不自手拳不教拳者不教他拳波逸²⁰提者煮
- 18 燒覆障若不悔過者²¹能障礙²²道
- 19 是中犯者若比丘地了時露地敷衆僧臥具
- 20 已便入室坐息至地了竟乃拳着覆処波逸²³
- 21 提地了竟時中前時日中時晡時日沒時露
- 22 地敷僧臥具已便入室坐息至日沒竟時乃
- 23 拳着覆処波逸²⁴提若比丘露地敷僧臥具已
- 24 出寺門過四十九步波逸²⁵提又比丘露地敷
- 25 僧臥具已出寺門過墻籬少許至地了時突

(第二紙) T23p77b13~

1 吉羅又比丘露地敷僧臥具已不囑人遊行

- 9 〔人〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 10 着¹⁰者〔大〕
- 11 逸¹¹夜〔大〕
- 12 羝¹²殺〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 13 枕¹³被〔大〕
- 14 麓¹⁴蓐〔大〕 大正蔵に校注なし。「麓」の右に「蔗」(朱書)あり。
- 15 爪¹⁵瓜〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 16 蓐¹⁶麻¹⁷芻摩〔大〕 大正蔵の校注の内容が(芻摩¹⁷蓐¹⁶麻¹⁷芻¹⁷摩¹⁷〔聖〕*)となっている。
- 17 蓐¹⁷麻¹⁷芻¹⁷摩〔大〕
- 18 慢¹⁸幔〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 19 逸¹⁹夜〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 20 〔者〕-〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 21 礙²¹闍〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 22 逸²²夜〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 23 逸²³夜〔大〕 大正蔵に校注なし。
- 24 逸²⁴夜〔大〕 大正蔵に校注なし。

- 2 諸坊突吉羅有二比丘露地敷僧臥具已俱
- 3 從坐起去後去者忘舉又二比丘露地敷□
- 4 臥具已持衣鉢在中一比丘先取衣鉢去後
- 5 取衣鉢者忘舉不舉者犯有一時衆僧露地
- 6 會食諸比丘食竟捨僧臥具在露地去有惡
- 7 風雨土汚濕是事白仏言忘舉着覆処
- 8 仏作是語已諸比丘食竟有諸白衣即坐僧
- 9 臥具床上是事白仏言忘待諸比丘久□
- 10 熱悶吐逆仏言若有病者忘去隨見者忘舉
- 11 若二比丘見一人忘舉大床小床一人忘舉
- 12 大蓐小蓐若聚落邊寺中持臥具至空閑処
- 13 空閑処持至聚落邊寺中值雨不犯若失戸
- 14 鉤戸籬無舉処若八難中一一難起不舉不
- 15 犯（小四／事竟）³⁰
- 16 仏在舍衛國爾時有二客比丘向暮來次第
- 17 得一房共住一人得床一人得草敷二人夜
- 18 宿已不舉便去時草敷中生蟲噉是草敷（草敷）床
- 19 脚床（勝）床（檣）床（繩）被蓐枕噉已入壁中住爾
- 20 時有一居士請仏及僧明日食仏默然受已（34）
- 21 居士知仏默然受從坐起頭面礼足右邊而
- 22 去還到自舍是夜弁種種多美飲食早起敷
- 23 坐処已遣使白仏食具已弁唯聖知時諸比
- 24 丘往居士舍仏自住房迎食分諸仏（常）法諸
- 25 比丘往居士舍仏自持戸鉤從一房至一房

（第四紙） T23p77c16～

- 25 【去】 + 【大】 大正蔵に校注なし。
- 26 【以】 + 【大】 大正蔵に校注なし。
- 27 【来】 + 【大】 大正蔵に校注なし。
- 28 籬 = 籬【大】 大正蔵に校注なし。
- 29 小 = 小【大】 大正蔵に校注なし。
- 30 大正蔵の校注は、（不分卷及章（聖））となっている。
〔十誦律卷第十／十誦律卷第十一第二誦之五／後秦北印度三藏弗若多羅譯／九十波逸提法之三〕 + 【大】
敷 = 敷【大】 大正蔵に校注なし。
31 敷 = 敷【大】 大正蔵に校注なし。
32 勝 = 勝【大】 大正蔵の校注の内容（檣 = 髀（宮）（聖）*）が間違えている。
33 【噉】 + 【大】 大正蔵に校注なし。
34 【已】 - 【大】
35 【已即】 + 【大】
36 坐 = 座【大】 大正蔵に校注なし。
37 【爾時】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

25 比丘以十利故与諸比丘結戒從今是戒

(第五紙) T23p78a12~

1 如是説

2 若比丘比丘房中敷僧臥具⁵⁴若使人敷是中

3 坐臥去時不舉不教舉者波逸提比丘房者

4 或属衆僧或属一人極小乃至容四威儀行

5 立坐臥自敷者⁵⁵手自⁵⁶敷使敷者教他敷坐者

6 坐上臥者身臥上不舉者不自手舉不教舉

7 者不教他舉波逸提者煮燒覆障若不⁵⁷悔⁵⁸過

8 能障礙道

9 是中犯者若客比丘比丘房中敷僧臥具出

10 界去波逸提若旧比丘比丘房中敷僧臥具

11 出界去作是念即⁵⁹当還⁶⁰有急因縁不得即還

12 出界至地了時突吉羅⁶¹言從今⁶²聽付嘱僧

13 臥具已便行嘱者有⁶³五⁶⁴種言此是⁶⁵戸⁶⁶籬⁶⁷此是

14 房舍此是臥具若説⁶⁸此是房舍此是臥具

15 付嘱誰耶⁶⁹付嘱敷臥具者若無敷臥具者

16 応付嘱典房者若無典房者⁷⁰應嘱修⁷¹治⁷²房舍

17 人若無是人⁷³応嘱是中旧比丘善好有功德

18 持戒者若無是人⁷⁴是僧坊中若有善好賢者

19 若守僧坊民⁷⁵付嘱不⁷⁶付嘱無⁷⁷慚愧⁷⁸破⁷⁹

20 比丘亦不⁸⁰嘱小沙弥若不能得好人若有

21 衣架象牙⁸¹杖⁸²應持被蓐枕着上便去若無衣

22 架象牙⁸³杖⁸⁴是中有兩床者持被蓐⁸⁵着一床上

23 以一床覆上去壁四寸便去不犯者是房中

24 ⁸⁶坐⁸⁷物去乃至留盛富羅囊⁸⁸〈十五ノ事竟〉

⁵⁴〔若自敷〕 + 〔大〕 大正蔵に校注なし。

⁵⁵手自 || 自手 〔大〕

⁵⁶〔日〕 + 〔大〕 大正蔵の校注の内容は、〔日〕 - 〈聖〉* となっている。

⁵⁷〔日〕 + 〔大〕

⁵⁸五 || 三 〔大〕

⁵⁹籬 || 籬 〔大〕 大正蔵に校注なし。

⁶⁰〔此是戸籬〕 + 〔大〕

⁶¹〔付〕 + 〔大〕

⁶²〔戒〕 + 〔大〕 大正蔵に校注なし。

⁶³杖 || 我 〔大〕 大正蔵に校注なし。

⁶⁴杖 || 我 〔大〕 大正蔵に校注なし。

⁶⁵〔枕〕 + 〔大〕

⁶⁶坐 || 留 〔大〕 大正蔵に校注なし。

25 仏在舎衛国爾時長老邪²⁵舎与五百眷属俱

(第六紙) T23p78b8~

- 1 来向舎衛国欲安居時諸比丘皆作安居先
- 2 事謂塞壁孔罅²⁶塞土墮孔罅²⁷補缺壞解治繩
- 3 床抖擻²⁸被枕爾時六群比丘懈墮²⁹不作遙見
- 4 他作便生是念我等上坐³⁰須被³¹作竟受臥具
- 5 已当於後入随上坐³²駟³³起作是念已諸比丘
- 6 作竟受臥具已六群比丘便隨後入諸比丘
- 7 問六群比丘汝共我等来作先事不答言不
- 8 作諸比丘言汝等共我³⁴来不作先事我等作
- 9 先事竟³⁵不起六群比丘言如仏所說随上坐³⁶
- 10 次第受房不說不作先事者不与我是上坐³⁷
- 11 云何不起六群比丘大力巢³⁸健不³⁹慎即強牽
- 12 出是比丘柔軟樂人頭手傷壞鉢破衣裂是
- 13 中有比丘少欲知足行頭陀聞是事⁴⁰心不喜
- 14 種種因縁呵⁴¹責云何名比丘比丘房中瞋恨
- 15 不喜⁴²便強牽出種種因縁呵⁴³已向仏広説仏
- 16 以是事集比丘僧知而故問六群比丘汝等
- 17 実作是事不答言実作世尊仏以種種因縁
- 18 呵⁴⁴責云何名比丘比丘房中瞋恨不喜⁴⁵便強

- 67 邪⁶⁷耶【大】 大正蔵に校注なし。
- 68 罅⁶⁸罅【大】 大正蔵に校注なし。
- 69 罅⁶⁹罅【大】 大正蔵に校注なし。
- 70 擻⁷⁰擻【大】 大正蔵に校注なし。
- 71 墮⁷¹墮【大】 大正蔵に校注なし。
- 72 坐⁷²坐【大】 大正蔵に校注なし。
- 73 被⁷³彼【大】 大正蔵に校注なし。
- 74 坐⁷⁴坐【大】 大正蔵に校注なし。
- 75 駟⁷⁵駟【大】 大正蔵に校注なし。
- 76 【等】+【大】 大正蔵に校注なし。
- 77 【我】+【大】 大正蔵に校注なし。
- 78 坐⁷⁸坐【大】 大正蔵に校注なし。
- 79 坐⁷⁹坐【大】 大正蔵に校注なし。
- 80 巢⁸⁰巢【大】 大正蔵に校注なし。
- 81 【大謹】+【大】
- 82 【已】+【大】 大正蔵に校注なし。
- 83 呵⁸³訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 84 喜⁸⁴意【大】 大正蔵に校注なし。
- 85 呵⁸⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 86 呵⁸⁶訶【大】 大正蔵に校注なし。
- 87 喜⁸⁷意【大】 大正蔵に校注なし。

- 19 牽出種種因縁⁸⁸已語諸比丘以十利故与
 20 諸比丘結戒從今是戒応如是説
 21 若比丘比丘房中瞋恨不喜⁹⁰便自牽出若使
 22 人牽⁹⁰癡人遠去不応住此除⁹¹因縁波逸提比
 23 丘房者或属僧或属一人極小乃至容四威
 24 儀行立坐臥瞋恨者不随意故不喜⁹³者瞋不
 25 喜⁹³見故自牽者自手牽出使牽者教他牽若

(第七紙) T2378c4~

- 1 從床上至地從房內至戸從戸至行來処從
 2 高⁹⁴至下処從土埵上至地波逸提波逸提者
 3 煮燒覆障若不悔過能障礙道
 4 是中犯者若比丘瞋恨不喜⁹⁵牽捉比丘能牽
 5 者波逸提不能者⁹⁶突吉羅若使他牽能者波
 6 逸提不能者突吉羅若從坐床上能牽者波
 7 逸提不能者突吉羅若從臥床上房內戸外
 8 行処高上土埵上若能牽者波逸提不能者
 9 突吉羅隨自牽⁹⁵教牽皆波夜⁹⁶提突吉羅若房
 10 舍⁹⁹破¹⁰⁰牽出不犯(十六/事¹⁰¹竟)
 11 仏在舍衛國爾時長老迦留陀夷惡眠不
 12 心眠¹⁰²𦵏眠¹⁰²齒¹⁰³嚙¹⁰³語頻申拍手動足作大音
 13 声諸比丘聞是声不得眠故食不消¹⁰⁴身体患
 14 庠¹⁰⁵惱悶吐逆不樂諸比丘各各共相近敷臥

88 呵⁸⁸訶【大】 大正蔵に校注なし。

89 喜⁸⁹喜【大】 大正蔵に校注なし。

90 (出) + 【大】

91 (彼) + 【大】 大正蔵に校注なし。

92 喜⁹²喜【大】 大正蔵に校注なし。

93 喜⁹³喜【大】 大正蔵に校注なし。

94 (上) + 【大】 大正蔵に校注なし。

95 喜⁹⁵喜【大】 大正蔵に校注なし。

96 者⁹⁶牽【大】 大正蔵に校注なし。

97 (隨) + 【大】

98 夜⁹⁸逸【大】

99 (欲) + 【大】 大正蔵に校注なし。

100 (故) + 【大】

101 (事) - 【大】 大正蔵に校注なし。

102 吩¹⁰²斷【大】 大正蔵の校注は、(斷¹⁰²吩¹⁰²(聖)*)となつてゐる。

103 嚙¹⁰³嚙【大】 大正蔵に校注なし。

104 (食不消故) + 【大】 大正蔵の校注は、(食不消故) - (聖)*)となつてゐる。

105 庠¹⁰⁵癢【大】 大正蔵に校注なし。

- 15 具作是念莫令迦留陀夷入中臥時迦留陀
- 16 夷強來入中敷臥具諸比丘言迦留陀夷汝
- 17 莫強入中臥何以故汝惡眠不一心眠鼾眠
- 18 吟106齒107 語頻申拍手動足作大音声諸比丘
- 19 聞是声不得眠故食不消身体患108惱悶吐
- 20 逆不樂迦留陀夷言我自安樂汝不樂者便
- 21 自出去作是語已強敷臥具是中有比丘少
- 22 欲知足行頭陀聞是事心不喜種種因緣109
- 23 責云何名比丘知比丘房中先敷臥具後來
- 24 強敷種種因緣110已向仏広説仏以是事集
- 25 比丘僧知而故問迦留陀夷汝實作是事不

(第八紙) T23p79a1 ~

- 1 答言實作世尊仏以種種因緣111責迦留陀
- 2 夷云何名比丘知比丘房中先敷臥具後來
- 3 強敷種種因緣112已語諸比丘以十利故与
- 4 諸比丘結戒從今是戒応如是説
- 5 若比丘知比丘房中先敷臥具後來強敷若
- 6 使人敷不樂者自当出去除彼因縁波逸提
- 7 知者若自知若從他聞若彼人語強敷者不
- 8 隨他意自強敷故使敷者教人敷若敷坐床
- 9 前若敷臥床前若敷房內若戸外行処若高
- 10 処若土埵前敷者波逸提波逸提者煮燒覆
- 11 障若不悔過能障礙道
- 12 是中犯者若比丘知比丘在113房中先敷臥具
- 13 竟後來於坐床前強敷臥具若能敷者波逸
- 14 提不能敷者突吉羅若臥床前若房內114外
- 15 行処高処土埵前若自敷若使人敷能敷者
- 16 波逸提不能者突吉羅如是処随自敷教敷

106 吟106 齧107 【大】

107 齧107 寢108 【大】 大正蔵に校注なし。

108 寢108 癢109 【大】 大正蔵に校注なし。

109 癢109 訶110 【大】 大正蔵に校注なし。

110 訶110 訶111 【大】 大正蔵に校注なし。

111 訶111 訶112 【大】 大正蔵に校注なし。

112 訶112 訶113 【大】 大正蔵に校注なし。

113 訶113 比114丘114 + 【大】 大正蔵に校注なし。

114 房114 戸114 【大】 大正蔵に校注なし。

- 17 一波逸提突吉羅若比丘為惱他故閉戸
- 18 開戸115向開向116燃116火滅116火燃116燈滅116燈若116唄116
- 19 願誦經說法問難隨他所不118樂事作118一一波
- 20 逸提119〈十七／事119竟〉
- 21 仏在舍衛國爾時有二客比丘向暮來是二
- 22 客比丘次得一房一人得閣上一人得閣下
- 23 得閣下者是坐禪人寂靜早入房中敷床蓐
- 24 結跏120跌坐樂默然故在閣上者多喜121調戲經
- 25 唄呪願問難大声戲笑作種種無益語言然

(第九紙) T23p79a26~

- 1 後入房用力坐尖脚床上以葦棧故床脚及
- 2 支陷下傷比丘頭垂死是比丘從房出語諸
- 3 比丘汝看是比丘不一心坐臥故床脚陷下
- 4 傷我頭垂死是有比丘少欲知足行頭陀
- 5 聞是事心不喜種種因緣122責云何名比丘
- 6 不一心坐臥用力坐故令床脚陷下傷比丘
- 7 頭垂死種種因緣123已向仏広説仏以是事
- 8 集比丘僧知而故問是比丘汝實作是事不
- 9 答言實作世尊仏以種種因緣124責云何名
- 10 比丘不一心坐臥令床脚陷下傷比丘頭垂
- 11 死種種因緣125已語諸比丘以十利故与諸126
- 12 比丘結戒從今是戒応如是説
- 13 若比丘比丘房閣中尖脚127床用力坐臥波
- 14 逸提比丘房者或属僧或属一人極小乃至

¹¹⁵ 閉115閉【大】 大正蔵に校注なし。「閉」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「閉」(朱書)あり。

¹¹⁶ 燃116燃【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹⁷ 燃117燃【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹⁸ (意) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹¹⁹ (事) - 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁰ 跏120加【大】 大正蔵に校注なし。

¹²¹ 喜121喜【大】 大正蔵に校注なし。

¹²² 呵122呵【大】 大正蔵に校注なし。

¹²³ 呵123呵【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁴ 呵124呵【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁵ 呵125呵責【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁶ (比) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁷ (坐) - 【大】 大正蔵に校注なし。

- 15 容四威儀行立坐臥闍者一重以上皆名為
- 16 闍床者臥床臥床有五種阿珊蹄脚波郎劬
- 17 脚羝羊角脚尖脚曲脚坐禪床亦有五種阿
- 18 珊蹄脚波郎劬脚羝羊角脚尖脚曲脚坐者
- 19 坐上臥者身臥上波逸提者煮燒覆障若不
- 20 悔過能障礙道
- 21 是中犯者若比丘臥床一脚尖三脚阿珊蹄
- 22 若二脚尖二脚阿珊蹄若三脚尖一脚阿珊
- 23 蹄若四脚尖是中随用力坐臥一一波逸提
- 24 若臥床一脚尖三脚波郎劬若二脚尖二脚
- 25 波郎劬若三脚尖一脚波郎劬若四脚尖是

(第十紙) T23p79b21~

- 1 中随用力坐臥一一波逸提若臥床一脚尖
- 2 三脚羝羊角若二脚尖二脚羝羊角若三脚
- 3 尖一脚羝羊角若四脚尖是中随用力坐臥
- 4 一一波逸提若臥床一脚尖三脚曲若二脚
- 5 尖二脚曲若三脚尖一脚曲若四脚尖是中
- 6 随用力坐臥一一波逸提坐禪床亦如是若
- 7 以石枝尖脚床波逸提若以磚枝若以木枝
- 8 若白臘枝若鉛錫枝一一波逸提若以材棧
- 9 板棧櫛子棧若厚泥若是床脚木朽腐若
- 10 草團枝若衣團枝若納團枝不犯木枝朽則軟不能傷人故
- 11 〈言不／犯〉十八事竟

128 以已【大】 大正藏に校注なし。
 129 有者【大】 大正藏に校注なし。
 130 〔身〕+【大】 大正藏に校注なし。
 131 〔是〕+【大】 大正藏に校注なし。
 132 〔是〕+【大】 大正藏に校注なし。
 133 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 134 磚枝支【大】 大正藏に校注なし。
 135 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 136 〔以〕+【大】 大正藏に校注なし。
 137 臘枝支【大】 大正藏に校注なし。
 138 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 139 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 140 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 141 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 142 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 143 枝支【大】 大正藏に校注なし。
 144 〔事〕-【大】 大正藏の校注の内容は、〔事〕+竟〔三〕〔宮〕〔聖〕*となつてゐる。

- 12 仏在俱舍毘¹¹⁵国爾時長老闍那用有蟲水澆
- 13 草和泥諸比丘語禪¹¹⁵那言汝莫用有蟲水澆
- 14 草和泥殺諸小蟲闍那答言我用水和泥不
- 15 用蟲諸比丘言汝知是水有蟲云何用和泥
- 16 汝於畜生中無憐愍心是中有比丘少欲知
- 17 足行頭陀聞是事心不喜種種因緣¹¹⁵責云
- 18 何名比丘知水有蟲用澆草和泥種種因緣
- 19 呵¹¹⁵已向仏広説仏以是事集比丘僧知而故
- 20 問闍那汝實作是不答言實作世尊仏以
- 21 種種因緣¹¹⁵責云何名比丘知水有蟲用澆
- 22 草和泥種種因緣¹¹⁵已語諸比丘以十利故
- 23 与諸比丘結戒從今是戒応如是説
- 24 若比丘知水有蟲¹¹⁵用澆草和泥若使人用波
- 25 逸提知者若自知若從他聞蟲者若眼所見

(第十一紙) T23p79c17~

- 1 若澆水囊所遮¹¹⁵澆¹¹⁵者自手澆使澆者教他澆
- 2 和泥者自手和使和者教他和波逸提者煮
- 3 燒覆障若不悔過能障礙道
- 4 是中犯者若比丘知水有蟲用澆草隨蟲死
- 5 一一波逸提若使他澆草隨蟲死一一波逸
- 6 提若比丘知有蟲水¹¹⁵用和泥隨蟲死一一波
- 7 逸提若使他和泥隨蟲死一一波逸提牛尿¹¹⁵
- 8 土乃至以竹蘆葉着有蟲水中隨蟲死一一
- 9 波逸提若比丘有蟲水中有蟲想用者波逸
- 10 提有蟲水中無蟲想用波逸提有蟲水疑用
- 11 波逸提無蟲水中有蟲想用突吉羅無蟲水

145 毘¹¹⁵彌【大】
 146 禪¹¹⁵闍【大】 大正蔵に校注なし。
 147 呵¹¹⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 148 呵¹¹⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 149 呵¹¹⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 150 呵¹¹⁵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 151 自【大】 大正蔵に校注なし。
 152 遮¹¹⁵澆【大】 大正蔵に校注なし。
 153 草【大】 大正蔵に校注なし。
 154 有蟲水¹¹⁵水有蟲【大】 大正蔵に校注なし。
 155 尿¹¹⁵尿乾【大】

- 12 中¹⁵⁸ 生疑用突吉羅無蟲水中無蟲想用不犯
 13 〈十九ノ事¹⁵⁹竟〉
 14 仏在俱舍毘¹⁵⁸ 国爾時長老闍那欲起大房¹⁵⁸ 是
 15 人性懈墮作是念誰能日日看視即一日掘
 16 地築基累壁竟安戸向成¹⁵⁸ 泥壁塗治¹⁵⁹ 椽覆
 17 訖即日作竟即日崩倒是中有比丘少欲知
 18 足行頭陀聞是事心不喜種種因縁¹⁵⁹ 責云
 19 何名比丘起大房¹⁵⁸ 大用草木泥土即日作成
 20 即日崩倒種種因縁¹⁵⁹ 已向仏広説仏以是
 21 事集比丘僧知而故問闍那汝実作是事不
 22 答言実作世尊仏以種種因縁¹⁵⁹ 責闍那云
 23 何名比丘起大房¹⁵⁸ 大用草木泥土即日作成
 24 即日崩倒種種因縁¹⁵⁹ 已語諸比丘以十利
 25 故与諸比丘結戒從今是戒応如是説

(第十一紙) T23p80a13~

- 1 若比丘欲起大房当累¹⁵⁸ 壁安梁戸向治地応
 2 再三覆過是覆者波逸提大房者温室講堂
 3 合雷¹⁵⁹ 堂臺¹⁷⁰ 樓重閣夾¹⁷¹ 長屋壁者四壁若木若
 4 土梁者棟所依処戸者安扇処向者窓向通
 5 明処治地者泥地餽泥糠泥用赤白汚¹⁷² 灑塗
 6 治綵¹⁷³ 畫¹⁷⁴ 青畫白畫赤畫再三覆者応若二若

- 156 (中) - 【大】 大正蔵に校注なし。
 157 (事) - 【大】 大正蔵に校注なし。
 158 毘彌【大】 大正蔵に校注なし。
 159 (閣) + 【大】 大正蔵の校注は、(〔閣〕 - 〈聖〉*) となっている。
 160 (第二重安施戸向) + 【大】
 161 伽架【大】 大正蔵に校注なし。
 162 呵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 163 (閣) + 【大】
 164 呵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 165 呵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 166 (閣) + 【大】
 167 呵訶【大】 大正蔵に校注なし。
 168 累壘【大】 大正蔵に校注なし。
 169 雷雷【大】 大正蔵に校注なし。
 170 臺高【大】
 171 夾狭【大】 大正蔵に校注なし。
 172 汚黑壁【大】
 173 綵彩【大】 大正蔵に校注なし。
 174 (黒畫) + 【大】 大正蔵の校注の内容(黒青(聖)が間違えている。

- 7 三覆波逸提者煮燒覆障若不悔過能障礙
- 8 道
- 9 是中犯者若比丘自知覆者忘自覆一分竟
- 10 第二分忘發頭第三分忘約勅言当如是覆
- 11 約勅已便去是比丘若在中即竟第三覆者
- 12 是舍若用草覆随所用草一波逸提若用
- 13 木簣覆随用木簣一簣波逸提若以瓦覆
- 14 随所用瓦一波逸提不犯者若用板覆
- 15 若用鳥翅覆若用優尸羅草176覆不犯二十ノ事竟
- 16 仏在舍衛国爾時仏告諸比丘我教化四衆
- 17 疲極今諸比丘当教誡比丘尼爾時諸比丘
- 18 受仏教已次第教誡比丘尼上坐177比丘次178教
- 19 誡竟次至長老般特時阿難住179語般特言
- 20 汝知不汝明日次次教誡比丘尼般特語阿
- 21 難言我鈍根不多聞未有所知我夏四月乃
- 22 能誦得180拘摩羅偈
- 23 智者身口意 不作一切惡 常繫念現前 捨離於諸欲
- 24 亦不受世間 無益之苦行
- 25 阿難得過181次者善阿難再三語般特言諸上

(第十一紙) T23p80b9~

- 1 坐182已教誡竟今次到汝般特183亦再三報阿難
- 2 言我鈍根不多聞未有所知夏四月乃能誦
- 3 得拘摩羅一偈得過次者善阿難復言汝明
- 4 日次教誡比丘尼即受阿難語夜過已中前
- 5 着衣持鉢入舍衛城次第乞食食後還自房184
- 6 空地敷坐床已入室坐禪
- 7 爾時諸比丘尼聞今日般特比丘次教誡比

¹⁷⁵ (根) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁷⁶ 今||令【大】

¹⁷⁷ 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁷⁸ (第) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁷⁹ 住||往【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸⁰ (一) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸¹ (是) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸² 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸³ (比丘) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸⁴ (舍) + 【大】 大正蔵に校注なし。

- 8 丘尼皆生輕心是不多聞**誦誦**¹⁸⁵。經少夏四月¹⁸⁶。
- 9 誦得一拘摩羅偈
- 10 智者身口意 不作一切惡 常繫念現前 捨離於諸欲
- 11 亦不受世間 無益之苦行
- 12 我等所未聞法云何得聞我等所未知法云
- 13 何得知所誦拘摩羅偈我等先已誦**聞**¹⁸⁷。有比
- 14 丘尼先不入**祇桓**¹⁸⁸。聽法者時皆共來有五百
- 15 比丘尼出王園比丘尼精舍**到**¹⁸⁹。祇桓聽法詣
- 16 長老般特房¹⁹⁰立**警咳**¹⁹¹。作声扣戸言大德般特
- 17 出來長老般特即從禪起出房至独坐床上
- 18 端身大坐諸比丘尼頭面礼竟皆在前坐時
- 19 長老般特以¹⁹²**軟言語**¹⁹³。諸姉妹当知我鈍根少
- 20 所誦誦夏四月中¹⁹⁴。誦得一偈
- 21 智者身口意 不作一切惡 常繫念現前 捨離於諸欲
- 22 亦不受世間 無益之苦行
- 23 雖然我当随所知説汝等当一心行不放逸
- 24 法何以故乃至諸仏皆從一心不放逸行得
- 25 阿耨多羅三藐三菩提所有助道善法皆以

(第十四紙) T23p80c4

- 1 不放逸為本作是語已
- 2 用神通力於**坐**¹⁹⁵。上没在於東方虛空之中現
- 3 四威儀行立坐臥入火光三昧身出**光炎**¹⁹⁶。青
- 4 黃赤白種種色光身下出火身上出水身下
- 5 出水身上出火南西北方四維上下亦復如
- 6 是種種現神力已還坐本処諸比丘尼見長
- 7 老般特如是神力已輕心滅盡生信敬心¹⁹⁷。尊

¹⁸⁵ 誦誦 || 誦讀【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸⁶ (過) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸⁷ 聞 || 諸【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁸⁸ 祇桓 || 祇陀林【大】 大正蔵の校注は、(祇陀林 || 祇桓 <聖> *)となつてゐる。

¹⁸⁹ 到 || 往【大】

¹⁹⁰ (前) + 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹¹ 咳 || 欬【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹² (柔) + 【大】

¹⁹³ 言語 || 語言【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹⁴ 中 || 過【大】

¹⁹⁵ 坐 || 座【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹⁶ 炎 || 焰【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹⁷ (故) + 【大】 大正蔵に校注なし。

- 8 重淨心折伏僑慢即随比丘尼所喜¹⁹⁸樂法所
 9 応解法而為演說衆中有得須陀洹果斯陀
 10 含果阿那含果阿羅漢果有種声聞道因緣
 11 者¹⁹⁹有種辟支仏道因緣者²⁰⁰有發阿耨多羅三
 12 藐三菩提因緣²⁰¹者爾時衆中得如是種種大
 13 利益故

- 14 又²⁰²仏在王舍城爾時六群比丘次教誡比丘
 15 尼時置教誡事置教誨事置說法語作二種
 16 惡說僂惡語²⁰³爾時有下坐²⁰⁴年少比丘尼不深
 17 樂持戒共六群比丘調戲輕語大笑更相字
 18 名種種不清淨事是中有上坐²⁰⁵長老比丘尼
 19 深樂持戒在余処經行或立住待欲聞說法
 20 又一時摩訶波闍波提比丘尼与大比丘尼
 21 衆五百人俱出王園精舍往詣仏所頭面礼
 22 足在一面立五百比丘尼亦頭面礼仏足在
 23 一面立瞿曇弥比丘尼一面立已白仏言世
 24 尊仏為利益故聽教誡比丘尼我等不得是
 25 利仏問瞿曇弥云何我為利益故聽教誡比

(第十五紙) T23p80c28~

- 1 丘尼不得是利瞿曇弥比丘尼向仏広説是
 2 事仏言実爾我為利益故聽教誡比丘尼汝
 3 等実不得是利時仏為瞿曇弥²⁰⁶五百比丘尼
 4 說種種法示教利喜已默然時瞿曇弥五百
 5 比丘尼知仏示教利喜已頭面礼仏足右遶²⁰⁷
 6 而去時瞿曇弥五百比丘尼去不久仏以是
 7 事集比丘僧知而故問六群比丘汝実作是
 8 事不答言実作世尊仏以種種因緣呵²⁰⁸責六

¹⁹⁸ 喜||憲【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹⁹ (者) - 【大】 大正蔵の校注は、(者) + 有(聖*)となつてゐる。

²⁰⁰ (者) - 【大】

²⁰¹ (縁) - 【大】

²⁰² 故又||是戒初因縁【大】

²⁰³ 語||説【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁴ 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁵ 坐||座【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁶ (及) + 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁷ 遶||繞【大】 大正蔵に校注なし。

²⁰⁸ 呵||訶【大】 大正蔵に校注なし。

- 9 群比丘云何名比丘僧不差便教誡比丘尼²⁰⁹
- 10 種種因緣呵²¹⁰已語諸比丘以十利故与諸比丘結戒從今是戒応如是説
- 11 若比丘僧不差教誡比丘尼教誡比丘尼者
- 12 波逸提僧不差者僧未一心和合差令教誡
- 13 波逸提者燒煮²¹¹覆障若不悔過能障礙道
- 14 是中犯者若一比丘僧未差教誡一比丘尼
- 15 者一波逸提若一比丘教誡二三四比丘尼
- 16 者四波逸提若二比丘教誡二比丘尼者二
- 17 波逸提若教誡三四一比丘尼者一波逸提
- 18 若三比丘教誡三比丘尼者三波逸提若教
- 19 誡四一二比丘尼者二波逸提若四比丘教
- 20 誡四比丘尼者四波逸提若教誡一二三比
- 21 丘尼者三波逸提
- 22 仏在王舎城爾時六群比丘知僧不差教誡
- 23 比丘尼便出界外自相差次教誡比丘尼然
- 24 後入界諸比丘尼來時便語諸比丘尼言僧

(第十六紙) T23p81a25~

- 1 差我教誡比丘尼汝²¹² 我当説教誡²¹³法以是
- 2 因緣集比丘尼衆已置教誡事置教誨事置
- 3 説法語作二種惡是中有年少比丘尼不深
- 4 樂持戒共六群比丘調戲輕語大笑更相字
- 5 名種種不清淨事是中有上坐²¹⁴長老比丘尼
- 6 深樂持戒在余処經行或立住待是時比丘
- 7 尼僧共和合相近仏遙見比丘尼僧共和合
- 8 相近仏知故問阿難何以故比丘尼僧共和
- 9 合相近阿難答言世尊是六群比丘知僧不
- 10 羯磨令教誡比丘尼便出界外自相差次²¹⁵教
- 11 誡比丘尼然後入界見諸比丘尼來便作是

²⁰⁹ 〔仏〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。

²¹⁰ 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。

²¹¹ 燒煮=煮燒【大】 大正蔵に校注なし。

²¹² 〔來〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。

²¹³ 〔誡〕-〔大〕 大正蔵に校注なし。

²¹⁴ 坐=座【大】 大正蔵に校注なし。

²¹⁵ 差次=羯磨【大】 大正蔵に校注なし。

- 12 言僧一心**差次**²¹⁶我教誠比丘尼汝等來我當
- 13 說教誠²¹⁷法以是因緣故集比丘尼置教誠事
- 14 置教誨事置說法語作二種惡是中有年少
- 15 下坐²¹⁸比丘尼不深樂持戒共六群比丘調戲
- 16 輕語大笑²¹⁹更相呼²²⁰名是中有上坐²²¹長老比丘
- 17 尼深樂持戒在余處經行立待世尊以是因
- 18 緣故比丘尼僧共和合相近
- 19 仏以是因緣集比丘僧語諸比丘從今²²²比丘
- 20 有五法不応差²²³教誠比丘尼何等五一者未
- 21 滿二十歲未過²²⁴二者不能持戒三者不能多
- 22 聞四者不能正語說法五者犯十三事²²⁵汚三
- 23 衆未滿二十歲者從受大²²⁶戒來未滿二十歲
- 24 不能持戒者破仏所結戒不隨具戒中教不
- 25 知威儀不知応行処不応行処乃至破小戒

(第十七紙) T23p81b21~

- 1 無怖畏心不能次第字持戒不多聞者二部
- 2 具戒不合義誦誦不能正語說法者不能善
- 3 知世間正語上好言辭犯十三事者若十三
- 4 事中處處汚式又摩尼沙弥沙弥尼²²⁷若比丘
- 5 有是五法者不得差教誠比丘尼若比丘成
- 6 就五法心差教誠比丘尼何等五滿二十歲若
- 7 過²²⁸能持戒能多聞能正語說滿²²⁹法不犯十三事
- 8 不汚三衆滿二十歲者從受大²³⁰戒來滿²³¹若過

²¹⁶ 差次＝羯磨【大】

²¹⁷ 【誠】－【大】

²¹⁸ 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。

²¹⁹ 【大笑】－【大】

²²⁰ 呼＝字【大】

²²¹ 坐＝座【大】 大正蔵に校注なし。

²²² 【日】＋【大】 大正蔵に校注なし。

²²³ 【令】＋【大】

²²⁴ 【二十歲】＋【大】 大正蔵に校注なし。

²²⁵ 【処処】＋【大】

²²⁶ 大＝具【大】

²²⁷ 【是三衆邊犯罪雖悔過亦不得教誠比丘尼】＋【大】

²²⁸ 【二十歲】＋【大】 大正蔵の校注は、(二十歲)－(聖)*となっている。

²²⁹ 【滿】－【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁰ 從受大＝受具【大】

²³¹ 【二十歲】＋【大】

- 9 持戒者不犯仏所結戒隨大戒教知威儀知
- 10 応行処不²³²行²³³処乃至破小戒生大怖畏知
- 11 次第学持戒多聞者二部大戒合義誦誦能
- 12 正語説法者善知世間正語上好言辞不犯
- 13 十三事者十三事中不²³⁴処²³⁵汚²³⁶式又摩尼沙
- 14 弥沙弥尼
- 15 若比丘成就此五法者僧²³⁷応²³⁸差²³⁹教²⁴⁰誠²⁴¹比丘尼
- 16 若比丘不滿二十歲不能持戒不能多聞不
- 17 能正語説法犯十三事²⁴²汚²⁴³三衆若僧差是人
- 18 教誠比丘尼者不成差若是人教誠比丘尼
- 19 者波逸提若滿二十歲若過不能持戒不能
- 20 多聞不能正語説法犯十三事汚²⁴⁴三衆若²⁴⁵差
- 21 是人者不成差²⁴⁶是人教誠比丘尼者波逸提²⁴⁷
- 22 滿二十歲若過能持戒不能多聞不能正語
- 23 説法犯十三事汚²⁴⁸三衆若僧差是人者不成
- 24 差是人教誠比丘尼者波逸提²⁴⁹滿二十歲若
- 25 過能持戒能多聞不能正語説法犯十三事

(第十八紙) 123p81c16~

- 1 汚三衆若僧差是人者不成差是人教誠比
- 2 丘尼者波逸提²⁵⁰滿二十歲若過能持戒能多
- 3 聞能正語説法犯十三事汚²⁵¹三衆若僧差是
- 4 人者不成差是人教誠比丘尼者波逸提²⁵²滿
- 5 二十歲若過能持戒能多聞能正語説法不
- 6 犯十三事不汚²⁵³三衆若僧未差便教誠比丘
- 7 尼者波逸提成就五法已差未僧中差便教
- 8 誠者波逸提成就五法已差已僧中差未語
- 9 便教誠者突吉羅成就五法已差已僧中差
- 10 已語未僧中語便教誠者突吉羅成就五法

²³² 処=応【大】 大正蔵に校注なし。

²³³ 【三衆者】+【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁴ 【処処】+【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁵ 【僧】+【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁶ 【若差】+【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁷ 【若】+【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁸ 【若】+【大】 大正蔵に校注なし。

²³⁹ 【若】+【大】 大正蔵に校注なし。

²⁴⁰ 【若】+【大】 大正蔵に校注なし。

- 11 已差已僧中差已語已僧中語不問來者言
 - 12 諸妹一切皆²⁴⁵集不便教誡者突吉羅成就五
 - 13 法已差已僧中差已語已僧中語已問諸妹
 - 14 一切皆來集未說八敬法便語後比丘者
 - 15 突吉羅成就五法已差已僧中差已語已僧
 - 16 中語已問諸妹一切皆²⁴²集不已說八敬法次²⁴³
 - 17 後比丘者不犯〈二十一／事²⁴⁴竟〉
 - 18 僧²⁴⁵在舍衛國世尊²⁴⁶告難陀言汝當教誡比丘
 - 19 尼當教誨比丘尼當為比丘尼說法何以故
 - 20 若汝教誡比丘尼與我無異即時長老難陀
 - 21 默然受持²⁴⁷ 仏即時告諸比丘汝等差難陀教
 - 22 誡比丘尼若更有如是比丘者²⁴⁸亦當差²⁴⁹教誡
 - 23 比丘尼²⁵⁰如是²⁵¹作僧²⁵²一心和合是²⁵³一比丘僧
 - 24 中唱²⁵⁴大德僧聽²⁵⁵難陀比丘僧差令教誡比丘
 - 25 尼若僧時到僧忍聽²⁵⁶差難陀教誡比丘尼²⁵⁷如
- (第十九紙) T23p82a15~
- 1 是白²⁵⁸白二羯磨僧羯磨²⁵⁹難陀比丘教誡比丘
 - 2 尼竟僧忍默然故是事如是持過夜²⁶⁰已難陀
 - 3 比丘中前着衣持鉢入城乞食食後還房空
 - 4 地敷独坐床已²⁶¹入室坐禪時諸比丘尼聞難

241 〔来〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 242 〔来〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 243 〔語〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 244 〔事〕-〔大〕
 245 僧=仏【大】
 246 世尊=爾時仏【大】 大正蔵に校注なし。
 247 持=教【大】 大正蔵に校注なし。
 248 〔者〕-〔大〕 大正蔵に校注なし。
 249 〔令〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 250 〔苾〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 251 〔苾〕-〔大〕 大正蔵に校注なし。
 252 〔僧〕-〔大〕 大正蔵に校注なし。
 253 是=僧【大】
 254 僧中唱=唱言【大】
 255 〔是〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 256 〔僧〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 257 〔白〕+〔大〕 大正蔵に校注なし。
 258 白=作【大】 大正蔵に校注なし。
 259 羯磨=差【大】 大正蔵に校注なし。
 260 過夜=是夜過【大】 大正蔵に校注なし。
 261 〔已〕-〔大〕 大正蔵に校注なし。

- 5 陀教誡比丘尼先²⁶²不²⁶³来聽法者皆来集聽五
- 6 百比丘尼俱出王園精舍入祇桓²⁶⁴詣難陀房
- 7 前立警咳²⁶⁵作声扣戸言大德難陀為我等說
- 8 法教誡来时難陀從禪起開戸出²⁶⁶独坐床上
- 9 端身大坐時諸比丘尼頭面礼難陀足皆在
- 10 前坐難陀即時以²⁶⁷種種法示教利喜示教利
- 11 喜已默然時諸比丘尼得善法味深愛樂故
- 12 不欲起去難陀作是念是諸比丘尼得法味
- 13 故猶欲聞法即更為說種種法示教利喜乃
- 14 至日没語諸比丘尼言日没可去諸比丘尼
- 15 即起頭面礼足右遶²⁶⁸而去出祇桓²⁶⁹欲入城城
- 16 門已閉²⁷⁰即住城下塹邊宿²⁷¹或在樹下或在井
- 17 邊或在屏²⁷²障処宿晨朝開門諸比丘尼即便
- 18 先入時守門人問²⁷³諸善女今從何来答言我
- 19 從祇桓²⁷⁴聽法日没来還城門已閉²⁷⁵不及得入
- 20 問曰何処宿各随宿処答有城下宿者答言
- 21 城下宿²⁷⁶樹下宿者答言樹下宿²⁷⁷井邊宿者答
- 22 言井邊宿²⁷⁸屏障処宿者答²⁷⁹屏障処宿²⁸⁰
- 23 守門人言何有是²⁸¹法諸沙門釋子破梵行人²⁸²

- 262 不²⁶²未²⁶³【大】
- 263 桓²⁶³陀林【大】 大正蔵に校注なし。
- 264 咳²⁶⁴欬【大】 大正蔵に校注なし。
- 265 〔至〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 266 以²⁶⁶說【大】 大正蔵に校注なし。
- 267 遶²⁶⁷繞【大】 大正蔵に校注なし。
- 268 桓²⁶⁸陀林【大】 大正蔵に校注なし。
- 269 閉²⁶⁹閉【大】 大正蔵に校注なし。「閉」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「閉」(朱書)あり。
- 270 〔者〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 271 〔処〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 6
- 273 桓²⁷³陀林【大】 大正蔵に校注なし。
- 274 閉²⁷⁴閉【大】 大正蔵に校注なし。「閉」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「閉」(朱書)あり。
- 275 〔宿〕-【大】 大正蔵の校注の内容(樹下宿²⁷⁵宿樹下(聖))が間違えている。
- 276 〔宿〕-【大】 大正蔵に校注なし。
- 277 〔宿〕-【大】 大正蔵に校注なし。
- 278 〔言〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 279 〔宿〕-【大】 大正蔵に校注なし。
- 280 是²⁸⁰此【大】
- 281 人²⁸¹至夜【大】 大正蔵に校注なし。

24 共作惡已²⁸²早起放來如賊得淫²⁸³女共宿早起
25 放來門下諸釋子比丘亦如是暮共宿已早

(第十一十紙) T23p82b12~

- 1 起放來如是一人語二人二人語三人如是
- 2 展轉惡名流布滿舍衛城是有比丘少欲
- 3 知足行頭陀聞是事心不喜向仏広説仏以
- 4 是事集比丘僧知而故問難陀汝實作是事
- 5 不答言實作世尊仏以種種因縁呵²⁸⁴責難陀
- 6 汝不知時不知量樂説²⁸⁵乃至日没語諸比丘
- 7 以十利故与諸比丘結戒從今是戒応如是
- 8 説
- 9 若比丘僧差教誡比丘尼至日没者波逸提
- 10 波逸提者煮燒覆障若不悔過能障礙道是
- 11 中犯者若比丘地了時教誡比丘尼乃至日
- 12 没竟時波逸提若比丘地了竟時中前時日
- 13 中時晡時下晡時日没時教誡比丘尼至日
- 14 没竟時波逸提若日没竟時生日没竟想教
- 15 誡波逸提若日没竟時生日没竟想教誡波
- 16 逸提若日没竟時生日疑教誡²⁸⁶波逸提若日未
- 17 没生日没竟想教誡突吉羅若日未生日疑教
- 18 誡突吉羅若日未生日未生日没想教誡不犯(二ノ十)
- 19 (三事²⁸⁷ノ竟)
- 20 仏在王舎城爾時六群比丘自知不復得教
- 21 誡比丘尼妬瞋作是言諸比丘為利養故教
- 22 誡比丘尼謂衣鉢戸鉤時藥夜分藥七日藥
- 23 終身藥以是利故諸比丘教誡比丘尼不為
- 24 善²⁸⁸法是有比丘少欲知足行頭陀聞是事

(第十一十紙) T23p82c06~

²⁸² [口] - 【大】
²⁸³ 淫=姪【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁴ 呵=訶【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁵ [法] + 【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁶ 誨=誡【大】 大正蔵に校注なし。
²⁸⁷ 三事=二【大】 大正蔵の校注の内容(事) + 竟(聖) に不備がある。
²⁸⁸ [好] + 【大】

- 1 心不喜種種因緣²⁸⁹ 責云何名比丘作是言
- 2 諸比丘為財利故教誡比丘尼種種因緣²⁹⁰
- 3 已向仏広説仏以是事集比丘僧知而故問
- 4 六群比丘汝実作是事不答言実作世尊
- 5 仏以種種因緣²⁹¹ 責六群比丘²⁹² 云何名比丘
- 6 作是言諸比丘為財利故教誡比丘尼種種
- 7 因緣²⁹³ 已語諸比丘以十利故与諸比丘結
- 8 戒從今是戒応如是説
- 9 若比丘作是言諸比丘為財利故教誡比丘
- 10 尼波逸提波逸提者煮燒覆障若不悔過能
- 11 障礙道是中犯者若比丘言諸比丘為衣²⁹⁴ 故
- 12 教誡比丘尼者波逸提²⁹⁵ 為鉢²⁹⁶ 尸鉤時葉夜分
- 13 葉七日葉終身棄故教誡比丘尼皆波逸提
- 14 随所説随得爾所波逸提 〈二十三／事²⁹⁷ 竟〉
- 15 仏在王舎城爾時六群比丘与助調²⁹⁸ 達²⁹⁹ 比丘
- 16 尼共期同道行調戲大笑作僞惡語種種不
- 17 淨業是中有居士逆道來者有随後來者見
- 18 已共相謂言汝等看是為是婦邪³⁰⁰ 為是私通
- 19 必共作³⁰¹ 欲事是中有比丘少欲知足行頭陀
- 20 聞是事心不喜向仏広説仏以是事集比丘
- 21 僧知而故問六群比丘汝実作是事不答言
- 22 実作世尊仏以種種因緣³⁰² 責云何名比丘
- 23 与比丘尼共期同道行從一聚落至一聚落³⁰³
- 24 種種因緣³⁰⁴ 已語諸比丘以十利故与諸比

289 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

290 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

291 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

292 【六群比丘】 - 【大】

293 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

294 衣＝鉢【大】 大正蔵に校注なし。

295 【若】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

296 鉢＝衣【大】

297 【事】 - 【大】

298 調＝提婆【大】 大正蔵に校注なし。

299 【多】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

300 邪＝耶【大】 大正蔵に校注なし。

301 【姪】 + 【大】 大正蔵に校注なし。

302 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

303 【仏】 + 【大】

304 呵＝訶【大】 大正蔵に校注なし。

(第十一紙) T23p83a1~

- 1 丘結戒從今是戒応如是説
- 2 若比丘与比丘尼共期同道行從一聚落至
- 3 一聚落波逸提期者若比丘作期若比丘尼
- 4 作期道者有二種陸道水道波逸提者煮燒
- 5 覆障若不悔過能障礙道是中犯者若比丘
- 6 与比丘尼共期陸道行從村³⁰⁵至村³⁰⁶波逸提若
- 7 中道還突吉羅若向空地無聚落処³⁰⁷至一拘
- 8 盧舍〈五百³⁰⁸〉波逸提若中道還突吉羅水道行³⁰⁹
- 9 亦如是
- 10 仏在舍衛國爾時諸比丘尼從憍薩羅國遊
- 11 行向舍衛國到嶮³¹⁰道中待多伴時有諸比丘
- 12 亦從憍薩羅遊行向舍衛國諸比丘尼遙見
- 13 諸比丘作是念我等共諸比丘去者安隱得
- 14 過諸比丘來漸近比丘尼問言³¹¹大德欲何所
- 15 去³¹²答言向舍衛國比丘尼言我等当共諸大
- 16 德去諸比丘答言仏結戒諸比丘不得与比
- 17 丘尼共期同道行云何共去諸比丘尼言若
- 18 然者大德前去時諸比丘衆多安隱得過嶮³¹³
- 19 道賊不敢發諸比丘尼隨後³¹⁴來賊見女人衆
- 20 少尋出奪衣悉皆裸形³¹⁵諸比丘遊行漸到舍
- 21 衛國詣仏所頭面礼足一面坐諸仏常法有
- 22 客比丘來以如是語勞問³¹⁶比丘忍不足不安
- 23 樂住不乞食易不道路不³¹⁷極邪³¹⁸諸比丘答

³⁰⁵ 村＝一聚落【大】 大正蔵の校注の内容（聚落＝村（聖）に不備がある。

³⁰⁶ 村＝一聚落【大】 大正蔵に校注なし。

³⁰⁷ [乃] + 【大】 大正蔵に校注なし。

³⁰⁸ [弓量] + 【大】

³⁰⁹ [行] - 【大】 大正蔵に校注なし。

³¹⁰ 嶮＝險【大】 大正蔵に校注なし。

³¹¹ [諸] + 【大】 大正蔵に校注なし。

³¹² [諸比丘] + 【大】 大正蔵に校注なし。

³¹³ 嶮＝險【大】 大正蔵に校注なし。

³¹⁴ [緩] + 【大】

³¹⁵ [放去] + 【大】

³¹⁶ [言諸] + 【大】

³¹⁷ [乞] - 【大】

³¹⁸ 邪＝耶【大】 大正蔵に校注なし。

24 言世尊忍足安樂住乞食易得道路不³¹⁹乏即
25 以是事向仏広説仏以是事集比丘僧種種

(第十一紙) T23p83a26~

- 1 因縁讚戒讚持戒讚戒讚持戒已語諸比丘
- 2 從今是戒心如是説
- 3 若比丘与比丘尼共期同道行從一聚落至
- 4 一聚落除因縁波逸提因縁者若³²⁰多伴所行³²¹
- 5 有疑怖畏是名因縁疑者有二種一疑失衣
- 6 鉢二疑失糧食若疑失糧食者比丘尼飲食
- 7 比丘尼取持去若疑失衣鉢者比丘尼衣鉢
- 8 比丘尼取持去若至安隱豐樂処爾時応還
- 9 比丘尼衣食忘語言姉妹汝等随意不得共
- 10 行若爾時即共同道行至一聚落波逸提若
- 11 中道還突吉羅若從聚落向空地乃至一拘
- 12 盧舍波逸提中道還突吉羅水道亦如是不
- 13 犯者不期去若有王夫人共行不犯(二十四/事³²²竟)

14 十誦律卷³²³第十一

15 皇后藤原氏光明子奉為

- 16 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈從
- 17 一位橘氏太夫人敬写一切經論及律莊
- 18 嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥助永
- 19 庇菩提之樹長遊般若之津又願上奉
- 20 庇菩提之樹長遊般若之津又願上奉
- 21 庇菩提之樹長遊般若之津又願上奉

(第二十四紙)

- 1 聖朝恒延福寿下及寮采共盡忠節又
- 2 光明子自発誓言弘濟沈淪勤除煩障
- 3 妙窮諸法早契菩提乃至伝灯無窮流
- 4 布天下聞名持卷獲福消災一切迷方会

³¹⁹ 乏³¹⁹極【大】

³²⁰ 【是道中要須】+【大】 大正蔵の校注の内容(若是道中要須多伴所行道³²¹若多伴所行(聖)に不備がある。

³²¹ 【道】+【大】 大正蔵に校注なし。

³²² 【事】-【大】 大正蔵に校注なし。

³²³ 「卷」の右傍に「第二誦」(朱書)あり。

5 帰覚路

6 天平十二年五月一日記

7
8
9
10
11
12

(後補軸付紙)

大正八年十一月修理之

帝室博物館総長〈医学博士／文学博士〉 森林太郎 (花押)

董事 奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)